

動物

の

診察室

から

〇 54 〇

先日、ハクセキレイの

ヒナが4羽、巣ごと病院へ連れてこられました。

新潟県では、けがなどで保護された野鳥は、新潟市（旧紫雲寺町）にある「愛鳥センター」に

てしまったのです。連れてこられた方に、ヒナを見つけた上の方に、巣があった場所があるので、巣を元に戻してあげてください」と説明しました。

しかし、保護したのは自動車工場の中で、屋根に巣があったのかもしれないが元に戻すのは無理とのことでした。



保護された4羽のヒナ

しかし、保護したのは自動車工場の中で、屋根に巣があったのかもしれないが元に戻すのは無理とのことでした。

野生の命へ配慮が大切

ヒナを拾わないで!

ヒナはまだ元気で、何か近づく気配がすると、「ピッピッ」と黄色い口を大きく開けて餌を催促します。早速、病院のスタッフが餌をあげると元氣よく食べるのですが、保護したヒナを育てるのは大変なことで、ほとんどが死んでしま

の動物病院で、診察時間内でしたら、連れて行けば一時保護をして、後日、愛鳥センターに引き渡してくれます。今の時期には、巣に入ったヒナのほかに、巣立ち直後のヒナが多く保護されています。野鳥のヒナの多くは卵からかえ

て羽が生えそろうとすぐに巣立つので、巣から飛び出したときにはうまく飛べなくて落ちてしまふヒナがいます。でも、親鳥はそばにいて給餌や誘導をするので、ヒナは少しずつ飛べるようになります。

親鳥は人がいるとヒナに近づけません。保護したつもりが、親子を引き離す「誘拐」になるのです。野鳥のヒナを見つけたらどうしたらよいのでしょうか。まだ羽の生えそろうっていないヒナを見つけたら、巣立ち前に巣から落ちたかもしれませ

まり動きませんので、弱った野鳥と勘違いして保護する場合があります。親鳥は人がいるとヒナに近づけません。保護したつもりが、親子を引き離す「誘拐」になるのです。野鳥のヒナを見つけたらどうしたらよいのでしょうか。まだ羽の生えそろうっていないヒナを見つけたら、巣立ち前に巣から落ちたかもしれませ

ん。近くには巣があるはずなので、そこに戻してやることです。羽が生えそろうているヒナなら、巣立ち直後なので、けがをしている場合以外はそ

